

空知南組組報

KUNAN



善林山 善照寺 (寺院紹介はP6)

言葉のプレゼント

人は苦悩すべく生まれ

泣くべく育ち

そして やがて

死んで行くべく生きていく

(竹内照代)

他組寺院に学ぶ 第2弾

後志組の巻

秋の恒例となりました広報部取材旅行。今回は、後志組です。

連研に全員参加

お話をうかがって、空南組との違いをいざ感じましたが、連研に対する姿勢でした。

後志組連研のすごいところは、ほぼ全寺院の住職が連研スタッフとして運営に関わり（二十二カ寺中二十一カ）、坊守さんもお手伝いされ、それにとまってどの寺院からも門徒が連研に参加されているという点です。（現在第七期の参加寺院は十六カ寺）

空南組の連研は、残念ながら少数の連研担当者（講師を入れて十一名）のみによって運営され、また参加寺院も組内三十二カ寺中十五カ寺だけという状態です。

後志組では、連研に住職・坊守全員が参加するようになってから組内の雰囲気が変わり、教化活動

に対する意識・姿勢が自然と真面目になってきたということです。

また、門徒側も連研をうけるのが門徒としてあたりまえのようになりつつあり、受講者はだんだん増えています。



明善寺・鹿谷さん

ある寺院では連研受講者募集の際、「住職と坊守が手分けして門徒五軒ずつもまわったら、きつと四名位出てくれるだろう。」と二人でお願いに歩いたところ、全員がOKして参加者が十名にもなっていました。

受講者の多くは、その後中央教修を受け、門徒推進員となって各寺院において活躍されています。「なにしろ京都へ行かないと・

・」中央教修へ行った人とは行かない人の差がとて大きいので、できるだけ行くように働きかけています。

寺の役員（総代・仏壮・仏婦）のほとんどが門徒推進員という寺院もあります。

「連研によって、門徒と住職・坊守の結びつきを深め、よりよい人間関係を形づくるのがなによりも大切」との思いから、研修会の話し合いの場では、住職・坊守も車座の中に入って受講者の発言に耳を傾けるようにしています。最初のうちは話しづらそうにしているも、だんだん慣れて本音が出てくるそうです。

山麓ブロックでは、会所になる寺院の坊守さんがそれぞれ得意のお菓子や料理を作って、参加者みんなに御馳走し大変喜ばれています。

これからの課題としては、離郷門徒（札幌地区）のための連研を開催したいということです。他に山麓ブロックでは、青年連研が開催されています。現在参加

者は十六名で、時々突拍子もない質問が飛び出し、驚かされるのと同時に僧侶側にとって勉強させられることが多いそうです。

このように連研が組ぐるみ・寺院族ぐるみで開催されている後志組のあり方は、我が組も見習わなくてはならないと思いました。

報恩講は住職の通信簿



東林寺・山階さん



照覚寺・佐々木さん

Q 報恩講のお参りはどうですか。

東林寺 中日の大連夜と初夜は二百人くらい。他は少し減ります。

照覚寺 毎座八十人から九十人。

いちばん多かった時には百二十人くらいで余間までびっしりでした。

Q 特別なことをしていますか。

東 係を沢山作って、参加した人が必ず「私は何かした」といえるようにしています。具体的には、食堂・喫茶店・バザー・書道展・写真展・日校絵画展・菊花展・おたのしみタイム(くじ引き)などを開催します。

明善寺 日校生自作自演の紙芝居

(二人一枚ずつ)が上演されます。題材は親鸞聖人のご生涯などを参考にします。日校生は、他に各法座の案内状も作っています。

Q その他に何か。

東 案内状はB5番8頁で、前年度のようすを写真で伝えます。

照 「報恩講は、住職の通信簿」と思い、ご門徒にもそう訴えています。現在は、5段階評価で4くらいかな(笑)。

旅日記

(見処・味処)

十月七日午後一時十一分、誓報

寺を出発。千歳から美笛峠を越えて一路後志へ。紅葉はまだ五分くらい。途中、大滝村フォレスト276の豪華大理石トイレで一服。

午後四時十五分、共和町明善寺

(鹿谷法純氏)に到着。紫陽花寺として有名。それぞれに紫陽花の鉢をいただく。

午後六時、岩内町に到着。惜しくも日没に間に合わず。(夕日とその後には浮かび上がる漁火が大変美しいそうです)

光照寺住職(松本道也氏)のご案内を頂き滞在中のK布教使とともに岩内の街へ。鮮魚料理「こぶし」にて夕食をいただく。ソイのみそ汁が美味。その後、街遊。光照寺住職とK布教使の元気さには、かなわない。宿泊。小眠。

十月八日午前九時、改めて光照寺を訪問。見学。広い。巨大な輪

灯に驚きの声。向拝から正面に泊原発を望む。

午前十時、光照寺からすぐ近くの帰厚院(梅庭昭寛住職・「仏心仏語」の著者)へ。大仏拝観。偶然、光明寺の坊守様(岩見沢の団体)といっしょになる。

午前十時半、泊村原子力PRセンター「とまりん館」へ。立派。

案内係のおねえさんがきれい。発電所の模型の中を人の映像が動いて説明するマジックビジョンはすごい。この中ではどの人も否応無く、原子力発電所の必要性にうなずかされてしまう。温水プール有り。再び岩見沢の団体に会う。

午前十一時半、俱知安町東林寺

(山階照雄氏)へ。再びK布教使に会う。葬儀(一般門徒の葬儀も寺族と同じように内陣を荘厳して勤めるそうです)・常例法座の合間に新任職よりお話をうかがう。

昼食(天ぷらうどん)、御馳走さまでした。

午後一時四十分、ニセコ町へ。照覚寺(佐々木俊丸氏)がわからず、道を歩いていた生徒に尋ねると、「俊丸ん家だな」と丁寧に教えてくれる。山門前で記念撮影。昆布町ふるやの銘菓「溪流焼」をいただく。「これおみやげにいいね」と話していたら、坊守様がわざわざ四人分買ってきて下さる。

午後四時、すべての予定を終えて帰途に就く。途中、美笛峠のみ

ワイパー全開の雨。おかげで眠気が覚める。

午後七時、誓報寺に無事到着。(走行距離340キロ)

取材を終えて

出発前、「後志組に追いつけ追い越せ」と口では言いながら、内心は空南組も同じラインに立っていると思っていました。

ところが、実際に現地へ行きお話をうかがうと、同じラインに立つどころか、その差は歴然としていました。



今後は、取材させていただいた御住職方のお話を参考に、少しでも後志組に近づきようにと、取材班四名固く誓ったことでした。

後志組の皆様、ありがとうございました。



〇〇YBAキャンプ〇〇〇

6月27・28日 昨年に引き続き、穂別キャンプ場・穂別町真光寺（久保田瑞真住職）を会所に、40名余りが参加。昨年のテーマ『自然にふれよう』をうけ、『地球も呼吸していますー地球を壊すのは誰？守るのは誰？』のテーマのもと、実体験と法話を通してその意義を学んだ。研修そっちのけでハメをはずしていたのも今後の反省です。

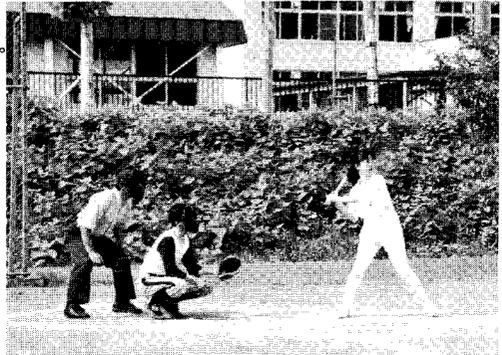


〇〇空知南組総代会〇〇〇

6月30日 奈井江町西本寺を会場に組総代研修会が開催されました。参加者は過去最高の65名。講師は小滝教務所長。

〇〇ソフトボール大会〇〇〇

7月8日 青僧協ソフトボール大会 in 三笠の1コマ。
（紅一点、杉原唯子さんの雄姿）



〇〇日校一泊研修会〇〇〇

7月11・12日 砂川少年自然の家にて、約90名参加のもと開催されました。3年続けての当地ということもあり、内容・進行面での心配はなかったものの、生活面では反省することもちろし。この反省を踏まえて、今後も内容充実した研修を開催します。

〇〇YBA 研修会〇〇〇

8月22日 札幌別院一階ホールにおいて、STVアナウンサー今中麻貴さん、北海道在住留学生3名を講師に「愛と文化」を語るフォーラムが、空知南組仏青部主催で開催された。50余名の若男女が、ユーモア一杯・興味ある話を耳をかたむけていた。フリートークの時間も設けたが、これはいささか進行が難しかった。その後の懇親会ではざっくばらんにそれぞれが友好を深めていた。参加者の反応はどうでありましたか？



知っ得コーナー

テープに印刷 すぐ貼れる

「テプラ」をご存知ですか

テレビのCMでおなじみの名札テープ作成機が今人気急上昇です。色の付いたテープにいろいろな文字を印刷して、裏紙をはがすとどこにでも貼ることが出来て、用途は多彩です。

書類棚の分類、ファイルの背表紙、所持品への名前、ワープロフロッピーのラベルなど、工夫次第でも便利です。

文字の入力も本体のキーボード（五十音・数字・アルファベット）を押すだけ、面倒な操作はありません。

現在、次の二種類が販売されています。

☆「キーボードテプラ」

(株)キングジム

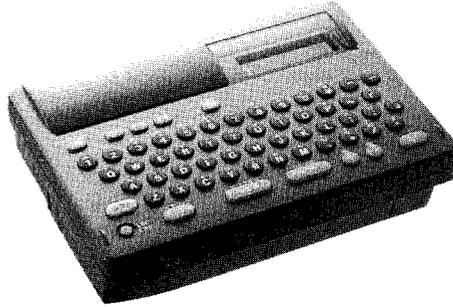
本体 二万二千八百円

テープ 千四百円

☆「ネームランド」

カシオ計算機(株)

本体 二万四千八百円
テープ 千八百円



⇒J-S配列のキーボードで、ローマ字・かなのどちらの入力方法にも対応。オフィスユースの上級一機種として高度な機能を満載。

□■西本寺住職

藤堂 西 聲



◎◎新佳職紹介◎◎

□■誓報寺住職

天野 広海



平成四年二月の総代役員会の席上、前住職より突然「住職を元気なうちに後継者に譲りたい」との一言で決まり、十月の報恩講に住職継職奉告法要が勤修されました。

西本寺住職を拜命し、法灯連綿として九十余年の歴史、其の責任の重大なるを痛感しています。

この上は、仏祖の冥助と門信徒の協力に信依して、寺門興隆のため一寸の光陰軽んずることなく、粉骨砕身第五世住職への道を邁進致す所存です。

何卒、組内諸先輩氏の御指導御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

□■坊守より一言

寺に生まれ寺に育って寺で生きてきた前住職・前坊守と違い、全く白紙の状態でご入寺して八年目の新任職の大変さは目に見えています。幸い人それぞれ持ち味と言ったのが有りますので、自分の良さを生かして欲しいと思います。

開教百年の歩みが始まったこの年に住職を継職。

おもえば長沼の地に九尺二間の掘っ立て小屋を営んで一世紀。荒野を拓いた開拓当初の先人たちの血と汗と涙、その辛苦を支え続けた無碍一道のお念仏。

二十一世紀の誓報寺はこの開教百年の確かな歩みを踏まえて、法義相続の営みを深めていかねばならぬ世紀となった。

開教二百年は、二〇九一年。

このときや孫たちは、どのような形でこの誓報寺に参集しているだろうか、住職になった今、その日にそええなければならぬ。

□■坊守より一言

『身近なお寺づくり』という事を住職、門徒の皆さんとともに、目指していきまいたと思っております。くれぐれも住職の先に出ないようにならねば...」

チヨットいい話し

★美唄正教寺では九月十六日三男誕生。慶哉（けい）や）ちゃんと命名。

★砂川西願寺で、九月十四日開基百年、本堂屋根修復慶讃法要が厳修されました。その本堂のたたずまいが歴史の重さを感じさせます。

★幾春別真法寺で、十月二日開教百年慶讃法要が厳修されました。雅楽が奏でられ稚児行列がでるなど、盛大に勤まりました。

★茶志内法王寺の長男松山教宗様が、十月十六日得度されました。組にとって頼もしい大型新人デス。ヨロシク！

★四月末より新築中の三川鶴林寺の庫裏が、九月末完成しました。おめでとうございます。皆さん遊びにきてねと若さんが申しております。

★十月十七日午後七時より長沼誓報寺本堂に於いて薩摩琵琶演奏会が開催されました。本堂一杯の観客は幻想的な音色に酔いしれていました。寺は文化の発祥地。今後もしも色々なイベントに提供したいそうです。

寺院紹介

善林山 善照寺 (三笠市善野)

- 明治28年開教着手
- 明治38年富山県射水郡、禅照寺より渡道せる林寺雪邨常駐し布教に専念。
- 明治44年善照寺と寺号公称認可され林寺雪邨開基住職となる。
- 明治45年本堂・庫裏全焼
- 大正5年本堂・庫裏全焼
- 昭和初年本堂・庫裏再建
- 昭和5年本堂・庫裏全焼
- 昭和6年林寺正道二世住職継職
- 昭和42年林寺正則三世住職継職
- 昭和44年庫裏再建
- 昭和43年本堂再建
- 昭和63年本堂増築

取材メモ

御存じのとおりご住職は布教使として全道の寺院を巡回。教化を蒙る末流処々に遍布して、幾万ということを知らず。その活躍は寺院のみならず、学校、農協等広く地域社会に及ぶといへども羅縷に遑あらず。しかしながらこれを略するところなり。

言葉のプレゼント

―表紙のことばより―

生きるこの意味も死ぬこの意味も、問わないで生きるのなら、それは空しすぎます。私達の生きている「いのち」は、うしろから死に追いかけられながら生きていますが、その死が「いのち」の表側にいつまわってくるかもしれせん。そこで「死んだらしまい」と考える人間は、その死に負けまいと日夜努力しているのが、老と病を遠ざける営みとなっているのでありましよう。そして、避けられない死の訪れは、結局、人生を空しくしてしまうのです。

お釈迦さまが出家を決意なさったのは、生死を出離する、生死問題という根本問題を解決するためでありました。人間は死ぬからこそ、本当に生きる道を聞かねばなりません。仏教の出発点はここにあり



編集後記

◇今回は、教区内において、かの有名な後志組へお邪魔しました。見習うところを少しでも吸収すべく、意気込んで出発したものの、前述の記事を読んでおわかりの通り、「とてもでないが、まねできぬ・・・」。ただただ溜め息の出る取材旅行でした。

◇羊蹄山のように、どっしりと足を大地につけ、御法義繁盛のために、先ず、自分の足元をかためなければ・・・、と思うことでありました。

◇末寺・組内における教化も「共に法を聞き、共に法を語ろう」というテーマを今一度顧みて、前進したいものです。 (S・T)

一九九二年十二月一日号

編集

空知南組基推委広報部

発行所

空知南組々長事務所